

## 教育相談・特別教育研修について



大小さまざまな課題を持つ生徒に対して気軽に相談できる気がしました。ありがとうございました。

支援が必要だと思われる子どもに早急に気づいてあげることが大事であり、深刻になる前に支援の手を差し伸べることで、早く子どもの道が開けてくるのだという事を感じました。その支援の手立てとしてサポステは大変有効であり、学校と連携した形で活用できればとても有益であると思いました。

サポートステーションという機関を初めて知りました。本人やその家族が悩んでいるとした時に、しっかりとサポート（支援）していただくことで、前向きに進んでいくことができるんだと思いました。どんなに親身になって生徒の相談を聞いて一緒に考えたり悩んでも、教師ひとりの力には限界があります。色々な面からの協力はとても大事だと思いました。本日はありがとうございました。学校で講演していただいたり、コミュニケーショントレーニングや就活セミナーでどんなことしているか、生徒や教員の前でもう少し具体的に見せていただくことができれば「利用してみたいな」とか生徒が自発的に意欲を見せてくれると、わたくしたちもまた、生徒のために働きかけをすることができるのでは？と思いました。

確かに高校 1 年生を見ていて、高校生活に慣れた頃であり、何か毎日がいやになってきたり、学校に来たくないと思っていたりする生徒が何人かいるようなので利用させてみたい。自分たちの力では解決できない点、また第 3 者からの意見や助言がいいよい点もあるので、生徒が進む方向が明るくひらけるように必要ではないかと思った。

昨年度 2 人の退学者をクラスで出しました。やめる理由を私も保護者も理解できず、心残りのする事例となりました。他に 35 名の生徒がいる中で、時間を掛けて解決する。2 人の今後の事も何も決まらないまま学校を去りました。本日のお話を早く聞くことができたらと思います。

インターシップでお世話になっており、おーさあの名前は知っていましたが、このような活動をしている所だとは知りませんでした。本校の生徒も家庭環境が複雑な生徒もたくさんいます。たくさんの人にこの機関を知ってもらえれば、相談をして、楽になる生徒も増えていくのではないかと思います。自分自身でも、対応できる部分是对応しますが、支援を利用する方法もいいのかなぁと思いました。自分自身も家庭環境があまり良くなく学生時代きつい時がありました。このような場所があれば楽になっていたのかなぁと思いました。

過去に勤務した学校で教育相談部の仕事をしていましたが、当時はこういった組織がなく、直接警察や県や市の施設に相談するといった対応をとっていました。ただ、そういった機関はとても敷居が高く、相談しても堅い対応が多かった様に思います。サポステの様な支援体制があると、幅広い内容で気軽に相談ができると思います。また、学校の様な組織の中では、狭い学校内のみで対応しがちだと思うので

(教員はとても経験が少ない)、外部からの情報はとても貴重です。何かありましたら、是非相談させて頂きたいと思います。

学校側からサポステに紹介しづらい……。一度“講演会”という設定で、全校生徒にサポステの存在の紹介してみるのも一案かと思います。現在は何の問題もない、しかし将来もしかしたら必要になるかもしれない、だから知識として知っておくことは無駄にはならない、と。生徒達にサポステの存在を印刷物で知らせるのも……。当校の相談室や進路指導室にサポステのカラーパンフレットを置き、生徒が手に取って見られるようにさりげなく置いてみてはどうでしょうか？とても役に立つお話ありがとうございました。

本日はありがとうございました。サポステは色々な支援がなされていることが分かりました。生徒との関わりは、常に悩んでいるのでこのような支援組織があるのなら生徒にも勧めて行きたいと思いました。

以前よりサポステの存在は知っていましたが、今回の研修を受け事業内容や支援について知ることができました。生徒達を見ていると様々な問題をかかえている子が増えていることを実感します。外部への相談というのは抵抗が職員にも生徒本人にもあるかとは思いますが、講演を聞き、生徒の将来を長い目で見た時、そのような支援が必要になってくると感じました。生徒の現状などを見極めたうえで、活用していければと思いました。ありがとうございました。

くまもと若者サポートステーションの仕事内容がよく理解できました。

- ① 生労働省の委託を受けているということ。サポステは生きづらさを感じている若い人達と1人でも多く繋がりたいということ。そして長期的なニート、引きこもりを未然に予防することが目的であるという事。その他にも目的はあると思います。
- ② この様な機関を活用して相当に重篤な状態の人々が助かっているという事が分かりました。
- ③ 他にも様々なケースについて知りたいです。④1年生の学年にも、誰が行なったのか不明な器物損壊(窓ガラス破壊等)などあり、もし人物がわかれば、支援を受けたらよいのではと思います。

話を聞いて是非、自分自身が見学させてもらって、また雑用のお手伝いをしながら体験したいと思いました。そして生徒を繋ぎたいです。

困ったらサポステに相談できることが分かり心強く思いました。

支援のシステムを構築されているのに、学校という何か壁があっただけかかえこんでしまい、かえってマイナスになっているような気がしました。専門機関に比べると、学校は無力だと感じます。引きこもり、ニート、コミュニケーションが苦手……。な若者が増えているのは、10代よりもっと小さな頃からの育ちや環境に大きな変化というか問題があるのでしょうか……。そこをどうかしないと、今後もこの状況は変わらないとしたら、とても根が深い、社会的な問題だと感じました。

このような事業があることは知りませんでした。もう少し早く知っていたらと思う気持ちがあります。卒業生・中退者などにも気長に勧めてみようと思います。まずは、私からメールなどで気になる生徒への対応をお尋ねしてみようかなあと思っています。

サポステの存在を、今回の研修で知ることが出来た。学校だけでは対応できないケースを相談する機関があることは心強いことです。積極的に相談したいと考えています。スクールソーシャルワーカーの存在は知っていたのですが、どの様にコンタクトを取れば良いのか知らなかったので、今回の研修はすごく良かった。早期の対応を私達もやって行きたい。

保護者から「うちには必要ない」本人が「自分には必要ない」と思っている場合、どの様な紹介の仕方が良いのか？教えて下さい。

くまもと若者サポートステーションとの連携で支援すべき生徒に道が開けることが知ることができ、大変有意義な研修であったと思う。

今回の公演を聞いておーさぁの業務内容が大変よく分かりました。担任として色々な生徒と接していく中で、どうアドバイスすればよいか、対応すればよいかと日々悩んでいる状態です。今回の研修をきっかけとして、生徒や保護者への紹介を行っていただければより良い教育ができると感じました。とても身近に感じる事ができましたので、大変参考となる貴重な研修をありがとうございました。

若者の職業的自立、社会的自立に向けたサポートや求職活動をはじめ、資格取得やマナー講座、サークル活動など幅広くされているところに感銘を受けました。家族からの相談も解決に向けて取り組まれるなど、精神的且つ総合的に活動されている印象を受けました。個々に事情があり、対応は難しいと思いますが、過去の事例や外部と協力して解決に向けての取り組みは大いに参考になると思いますし、1人でも多くの悩みに対して光をあてていけたらと思います。

サポステの活動と内容についてやや理解できました。個々の生徒に対して何をやっているのかよく分からない。具体的成果は出ているのだろうか？

学校などは、限られた時間での接触のため、特別支援のようなことは出来ません。また生徒に対しても結果を求めるため、精神的に追い込んでいると思います。今後ますます支援活動を必要とするケースが多くなると思います。できることなら、学校と連携（タイアップ）して、ひとりでも多くの生徒をサポートするようなシステムを作って欲しいと思います。

相談したい保護者や子どもたちに紹介していきたいと思いました。その時は、是非訪問してあげてください。

目の前にいる問題を抱えた生徒の対応として、サポステを利用することができるという心の支えがあ

るということを知りました。利用するかどうかは迷いますが、生徒が希望すれば紹介したいと思っています。

研修ありがとうございました。サポステについては、以前から知っていました。その中でサポステは個人的に利用するものかと思っていた。学校からサポステに連絡相談が多いことに驚いた。専門学校においても退学をする生徒が多いことを初めて知った。サポステなどの機関でも復学は難しい。高校卒業後、専門学校へ進学する生徒には、別の進路目標を持っていたが、やむなく専門学校というケースが多い。専門学校で休学や退学がきっかけとなり、就労の機会や人付き合いでつまづくことを防ぐためにも、高校でのキャリア教育・進路指導が重要である事を感じた。また、質問として、学校外へ相談等をする事において、生徒・保護者に不安を与えてしまうのではないかと考えてしまう。スムーズな対応の具体例等があれば紹介していただきたいです。

サポステは、学校で広範囲に活用できると思いました。生徒支援の一つとして、認知行動療法の活用等の研修会ができればと期待しています。

時代が進むにつれ、問題を抱えている若者や家族が増えたように思える。情報化社会が進むにつれ、人との関わり合いが少なくなったことが原因の一つに挙げられると思う。問題を抱えた方に対して社会復帰を支援されていることは、今の時代にとっても必要なことだと感じた。

教員の仕事も生徒の支援をすることなので、ひとりひとりの特徴や問題をしっかり理解して、支援を行わなければならないと思う。

「相談から・・・」解決の第一歩である。上手くいく、いかないより、色々な人・方法で関わっていく事が大切である。希望として各市町村の一つはサポステが欲しい。また質問として菊池のサポート体制に、菊池農業高校が入っていなかった理由はなぜでしょうか？

人生を歩む中で、相談支援を継続していく環境が大切だと感じました。現在、心当たりのある生徒が若干いますので、可能な限り連携していければと思います。

失礼ながら、サポステの存在は知りませんでした。今回お話を伺い、知る事ができて良かったと思います。これから、特にコミュニケーションが取れない子供が増えていくと思いますので、今後担任をもちたり、相談を受けた時に活用させていただきたいと思います。

“サポステ”という言葉は聞いたことがあったが、今回の研修で詳しくご説明いただき、深く理解できました。ありがとうございました。就学・就労という我々が日々直面する課題にプロフェッショナル集団として対応されている姿に頭が下がります。“教師”は、“学業”のプロでしかないので精神衛生等の「プロの力」に頼るのは当たり前のことであると私は思います。今後、相談にのっていただくことがあるかもしれません。宜しく申し上げます。本日の研修は有意義なものとなりました。ありがとうございました。

私はこれまで“サポステ”について、単純に就労・進学の支援の場くらいの認識であったが、今回の研修を受けて、実際にどういった支援をしているのか分かりました。当校の教員の発言でもあったように生徒をサポステに行かせるのは、勇気がいると私も思いますが、機会があれば、相談に行かせたいと思います。